

2023年9月期第2四半期決算説明会 質疑応答

2023年5月24日

富士製薬工業株式会社

東証プライム 4554



FujiPharma

質問	回答
<p>1 三井物産株式会社が Alvotech社と提携し、バイオシミラーへ参入すると発表しました。貴社との今後の関係性、事業シナジーについての見通し、考え方について教えてください。</p>	<p>三井物産株式会社とは2021年に資本提携解消後も業務提携関係は継続しておりますが、今回の三井物産株式会社とAlvotechの提携は、当社とAlvotechの独占的パートナーシップと関連するものではありません。三井物産とAlvotechの提携を通じて、Alvotechの事業遂行力が高まるとしたら、当社にとっても価値のあることと考えております。</p>
<p>2 エフメノ®の未達理由と下期の挽回策を教えてください。</p>	<p>長期処方制限解除や製品特徴の浸透によって、採用や処方は伸びておりますが、主に既存薬との患者さまの経済的負担の違いを理由に計画策定時の想定より遅れています。しかし対象患者数を踏まえた今後の需要予測に変更はありませんので、引続き、製品価値の情報提供を徹底してまいります。</p>
<p>3 経口避妊薬の未達理由と下期の挽回策を教えてください。</p>	<p>需要に対する供給が追いついていない点、上期に対して下期計画数値の方が大きい点が挙げられます。ホルモン製剤の製造棟である第6製剤棟が2023年11月より本格稼働となり、これにより確実に需要に応える体制が整いますので、しっかりと市場の需要に応えてまいります。</p>

質問		回答
4	サルプレップ®の未達理由と下期の挽回策を教えてください。	プロモーションの結果が現れるまで、当初の想定より時間がかかっていることが理由です。しかし承継当初よりも確実に売上は伸びており、専任MRの増強によりプロモーション活動も強化してまいります。これにより中期的には当初の目標に到達する見込みです。
5	原材料高騰影響の下期以降見通しを教えてください。	原材料高騰は継続すると想定しております。また、資源高騰に伴う、光熱費や物流費の上昇も影響しますので、状況を注視してまいります。
6	決算説明会資料P22のウトロゲスタン®腔用カプセルのシェアは不妊治療領域か経腔製剤、どちらでのシェアでしょうか。	経腔製剤市場におけるシェアです。
7	第6製剤棟稼働による安定供給を目指すというお話でしたが、現在の供給状況はどの程度でしょうか。	市場から多く引き合いを頂いておりますが、全てに応えきれていない状況です。限定出荷対応を行っております。

	質問	回答
8	<p>FSN-013の日本での開発について、月経困難症以外の適応での開発予定、およびその理由を教えてください。</p>	<p>本剤は「月経困難症および子宮内膜症性疼痛」の適応で開発を進めております。ASEAN、その他地域での適応である「避妊」については日本での開発予定は現状ございません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本では、諸外国と比べて経口避妊薬の普及が進んでいない。 ● 日本で潜在的な患者が多いと想定された月経困難症の治療に用いることを目的として、ルナベル配合錠が開発、薬価収載・上市され、それ以来月経困難症治療薬の市場は拡大している。
9	<p>日本での不妊治療の保険適用の影響について、2023年9月期第2四半期決算において、金額的にどれぐらいのプラス効果が出ているのでしょうか。</p>	<p>不妊治療に用いる製剤において、不妊治療以外の適応を持つ製剤もございますので明確な金額はお答えできませんが、例えば上位15製品のうち、ウトロゲスタン®腔用カプセルは前年同期比531百万円増加、ブセレリン点鼻液は同164百万円の増加となっております。</p>
10	<p>薬価の上がったものについて、値上げ前の前倒し発注と、値上げ後の買い控えの影響はいくらぐらいでしょうか。</p>	<p>現場からご要望があり一部製品で対応致しましたが、多くの製品で安定供給の観点から対応を制限しておりましたので、改定前の前倒し発注と、改定後の買い控えの影響は軽微と思われる。</p>

	質問	回答
11	<p>今回の薬価改定率はプラスですが、2023年9月期業績予想に織り込んでいたでしょうか。織り込んでいない場合は、業績予想の修正を行わない理由を教えてください。</p>	<p>2023年9月期の業績予想には、マイナス改定を見込んでおりましたので、プラス改定となったことは、価格の上ではプラスの影響と考えております。一方で、価格上昇に伴う数量への影響は品目ごとに異なり、現時点での下期以降の見通しを確定的に申し上げることは難しい状況です。したがい、通期予想は据え置きとしております。なお、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。</p>
12	<p>バイオシミラーについて、一品目申請したとのことですが、貴社のバイオシミラー全体について進捗と課題を教えてください。</p>	<p>リリースなどで公表している通り、アイスランドのAlvotech社との間で7製品の開発を進めております。22年10月に1製品目の承認申請をいたしました。他の6製品についても基本合意済です。バイオシミラーにおいては、上市の順番が重要と考えており、今回申請の製品についてファースト上市できるよう審査対応を進めております。今後、継続的に新製品が出てくる予定を組んでおります。Alvotech社側の開発スケジュールにも影響を受けますが、当社としてはこれらを予定通り上市すべく開発を進めております。</p>
13	<p>今年度の薬価改定で造影剤が新薬と同じ薬価になっているが、販売面の戦略について教えてください。</p>	<p>先発製剤との価格差がなくなることで、病院で使用されている分へのマイナスの影響が懸念されるということはあります。一方で、現場においてはブランド力の向上に注力しており、富士製薬＝造影剤という認知がかなり浸透していきっており、薬価が同じ水準になったことによる影響が今後どのように出てくるのか、様子をしっかりと見ていきたいと考えております。</p>

質問		回答
14	OLIC社の売上高が前期比140%の主な理由を教えてください。	OLICにつきましては、直近4月に新たに製販事業ということで、新薬を上市いたしました。今の売上高、利益の大半は受託です。新規の受託案件や、既存品の受注数量増加が大きく貢献しています。また、新しく米国向けの受託も取り組んでおり、このような先進国向けの受託も今後増えていけば、さらに業績が堅調に伸びていくのではないかと期待をしております。
15	アステラス製薬株式会社が米国でホットフラッシュを適応に持つfezolinetantの承認を取得したが、将来、国内においてエフメノ®と競合するなど影響は考えられるでしょうか。	エフメノ®はエストロゲンによる子宮体癌リスクを防ぐために投与されるものであり、fezolinetantとは適応が異なります。fezolinetantの登場、浸透により、非ホルモン製剤を通じた治療が浸透すると、HRT市場への影響はあるかもしれません。但し、現状診察・治療を受ける率が低いことを考慮すると、更年期障害治療の啓発・認知が進むことで、更年期障害市場の広がりにも繋がるのではないかと考えております。
16	FSN-013はタイで今期いくらの売上高を見込んでいるでしょうか。	具体的な数字は非開示ですが、当初2年間は医療機関向けに販路が限られることから、3年目以降の薬局市場への展開を見据えて販売活動を進めてまいります。医療機関向け市場は数%と限定的であり、中期的な数量拡大を計画しています。

予想および見通しに関するご注意事項

本資料に記載の業績予想及び将来の予想等に関する記述は、資料作成時点で入手した情報に基づき弊社にて判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、予めご了承ください。また、本資料に含まれている医薬品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

連絡先

富士製薬工業株式会社 経営戦略本部 経営企画部 経営企画課

E-Mail : fsk_ir@fujipharma.jp

U R L : <https://www.fujipharma.jp/>